

平成 25 年度 障がい者福祉活動サポート交付金【社会参加活動】交付決定事業者等一覧

■ 交付限度額：100,000 円

|   | 法人名             | 事業者名等                                     | 活動内容  | 交付決定額   |          |
|---|-----------------|---|---|---|----------|
| 1 | (福) 三条市手をつなぐ育成会 | すてっぷ<br>(生活介護・自立訓練・就労継続支援 A 型・就労継続支援 B 型) | <b>障がい者拠点施設グッデイいきいきサポートセンターまつり</b><br>開催日：平成 25 年 4 月 20 日 (土)<br>3 法人が障がい者拠点施設で同日に開催することで、より多くの地域住民から来てもらい交流を図るとともに、各事業所の利用者の交流機会とする。また、柳沢地区自治会と連携を図り、協働して取り組むことで障がい者への理解を深めてもらう機会とする。 | 多くの地域住民から来てもらえるようポスター、チラシ、のぼり旗を作成し、まつりの周知を図る。まつりでは、地域住民と事業所の利用者が交流できるよう、イベント、ゲーム、利用者が販売するフリーマーケットを行い、地域住民から障がい者への理解を深めてもらう。主に、イベントに使用する消耗品の購入やポスター、チラシなどの印刷に活用。                     | 86,000 円 |
| 2 | (福) 青空福祉会       | 青空地域生活支援センター<br>(地域活動支援センター)              | 自主製品の販売、模擬店、イベント、フリーマーケットを行い、地域住民から施設の活動を知ってもらう。また、喫茶にて法人内の事業所の自主製品を提供し、多くの地域住民に知ってもらうことで、今後の売り上げ向上につなげる。計画段階から事業所の利用者が関わり、新たな経験や社会性を身に付ける機会とする。主に、模擬店に使用する消耗品の購入やポスター、チラシなどの印刷に活用。     | 自主製品の販売、模擬店、イベント、フリーマーケットを行い、地域住民から施設の活動を知ってもらう。また、喫茶にて法人内の事業所の自主製品を提供し、多くの地域住民に知ってもらうことで、今後の売り上げ向上につなげる。計画段階から事業所の利用者が関わり、新たな経験や社会性を身に付ける機会とする。主に、模擬店に使用する消耗品の購入やポスター、チラシなどの印刷に活用。 | 96,000 円 |
| 3 | (福) ひめさゆり福祉会    | らいふ・すていしょん<br>(生活介護)                      | 事業所の利用者が製作している「アニマル君」の製造活動の様子を紹介し、障がい者が希望を持って活動している様子を多くの地域住民に知ってもらう。また、事業所の利用者も一緒に模擬店で販売することで、地域住民との交流を図る。主に、模擬店に使用する機材の賃借料やポスター、チラシなどの印刷に活用。  | 事業所の利用者が製作している「アニマル君」の製造活動の様子を紹介し、障がい者が希望を持って活動している様子を多くの地域住民に知ってもらう。また、事業所の利用者も一緒に模擬店で販売することで、地域住民との交流を図る。主に、模擬店に使用する機材の賃借料やポスター、チラシなどの印刷に活用。                                      | 97,000 円 |
| 4 | (福) 県央福祉会       | こすもす<br>(共同生活援助・共同生活介護)                   | <b>花いっぱい活動</b><br>(平成 25 年 5 月 1 日～平成 25 年 11 月 30 日)   | 事業所の利用者が地域住民（ボランティア）と共に、市内の公園などに花を植える活動を行うことにより、交流を深める。また、地域生活者の一員としての存在をアピールする。主に、花苗、肥料、プランター、スコップなどの購入に活用。  | 87,000 円 |

|               | 法人名             | 事業者名等                       | 活動内容  | 交付決定額   |          |
|---------------|-----------------|-----------------------------|---|---|----------|
| 5             | (福) 県央福祉会       | いからし工房<br>(就労継続支援 B 型・自立訓練) | <b>いからし工房太鼓クラブの演奏活動</b><br>(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日) | 事業所の利用者による市内の高齢者福祉施設や、各種団体の開催するイベントでの演奏を通して、利用者の社会参加及び地域貢献を図る。ハッピーをそろえて演奏活動をすることで、演出効果の向上を図るとともに、メンバーの演奏意欲の向上につなげ、継続的な活動の一助とする。主に、ハッピーの購入に活用。 | 97,000 円 |
| 6             | (福) 三条市手をつなぐ育成会 | さくら<br>(就労移行支援・就労継続支援 B 型)  | <b>平成 25 年度さくら祭</b><br>開催予定：平成 25 年 10 月中旬                    | まつりを通して事業所の活動を紹介するパネル展示や広報紙の配布を行い、地域住民へ事業所の PR の機会とする。イベントや事業所の利用者が販売する模擬店、フリーマーケットを行い、利用者と地域住民が一緒に楽しみながら交流を図る。主に、イベントや模擬店に使用する消耗品の購入に活用。     | 18,000 円 |
| 7             | —               | 三条地区手をつなぐ育成会                | <b>そらたかくの開催</b><br>開催日：平成 25 年 7 月 27 日 (土)                   | 障がい児者が、日頃から練習している音楽やダンスなどを発表する機会を作り、地域住民と一緒に楽しむことで、障害児者の自信や意欲向上へとつなげ、生きる力とする。主に、ポスター、チラシ、チケット (整理券) の作成や会場借用料に活用。                             | 97,000 円 |
| 交付決定事業者 7 事業者 |                 |                             |   | 総額 578,000 円  |          |

平成 25 年度 障がい者福祉活動サポート交付金【自立支援活動】交付決定事業者等一覧

■ 交付限度額 : 500,000 円

|               | 法人名                  | 事業者名等   | 活動内容   |   | 交付決定額          |
|---------------|----------------------|---|--|---|----------------|
| 1             | (福) 県央<br>福祉会        | 杉の子工房<br>(就労移行支<br>援・就労継続支<br>援 B 型)                | さつまいもを中心とした<br>野菜の栽培と販売を行う。<br>(平成 25 年 4 月 1 日～平<br>成 25 年 11 月 30 日)           | 平成 24 年度はさつまいもを栽培し、市内の菓子店に卸し、作ってもらったお菓子を事業所のイベント等で販売していた。今年度は、さつまいもを中心として各季節に収穫可能な様々な野菜を計画的に栽培するとともに耕地面積を増やすことで、販売できる種類や量を増やし工賃アップを目指す。農具をそろえることで、多くの利用者が栽培経験を積む機会ができ、将来的にも継続していける事業とする。農具などの購入に活用。                                   | 459,000 円      |
| 2             | (福) 青空<br>福祉会        | ともしび工房<br>(就労移行支<br>援・就労継続支<br>援 B 型・自立訓<br>練)      | パイプハウスで年間を通<br>して野菜、花などを栽培<br>し、販売を行う。<br>(平成 25 年 4 月 1 日～平<br>成 26 年 3 月 31 日) | 事業所の敷地内の畑にパイプハウスを設置し、年間を通じて野菜や花などを栽培する。収穫した野菜を事業所の給食の食材や、自主製品であるクッキー作りなどに活用するとともに、スマイル本町などで販売し、利用者の工賃アップを目指す。また、農作業を通して、利用者が地域住民から育て方を聞くなど交流を図る機会とする。設備を整えることで、将来的にも継続していける事業とする。パイプハウスや農具などの購入に活用。                                   | 484,000 円      |
| 3             | (福) ひめ<br>さゆり福祉<br>会 | ピュアハウス<br>(就労移行支<br>援・就労継続支<br>援 B 型・自立訓<br>練・生活介護) | 下田地区で資源物の回収<br>を行う。<br>(平成 25 年 4 月 1 日～平<br>成 26 年 3 月 31 日)                    | もともと行っていた下田地区での資源物回収による収入は、利用者の工賃の大きな割合を占めていたことから、新たに回収する地区や回数を増やすことで、さらなる利用者の工賃アップを図る。また、回収してきた資源物の分別作業にも事業所の利用者が関わることで、多くの利用者が作業に従事する機会ができ、働く意欲の向上にもつながる。回収先である地域の方と話をすることもでき、利用者のコミュニケーション能力の向上にもつながる。回収してきた資源物の分別作業、保管用の物置の購入に活用。 | 479,000 円      |
| 交付決定事業者 3 事業者 |                      |   |  |   | 総額 1,422,000 円 |